

学習状況診断票(算数) 小学校 第6学年

6年 組 番 名前

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点			
	大問	小問	通番		考え方	表現・処理	知識・理解	
数と計算	①	1	1	分数×分数の計算をすることができる。				
		2	2	分数÷分数の計算をすることができる。				
		3	3	分母のちがう分数のたし算の計算をすることができる。				
		4	4	分母のちがう分数のひき算の計算をすることができる。				
	②	2	1	5	約数の意味がわかっている。			
			6	問題为解决するために、公倍数を用いて考えることができる。				
			7	公倍数を求めて問題を解くことができる。				
	③		8	分母のちがう分数の大小の比べ方を考えることができる。				
			9	分母のちがう分数の大小を比べることができる。				
	④		10	分数倍の大きさの求め方を考えることができる。				
			11	分数倍の大きさを求めることができる。				
	⑤		12	分数×分数の計算の仕方を考えることができる。				
量と測定	⑥		13	こみぐあいの比べ方を考えることができる。				
			14	こみぐあいの意味がわかっている。				
	⑦	1	15	およその形を考えることができる。				
			16	およその面積を求めることができる。				
	⑧	1	17	立体の分け方を見て、直方体が組み合わさった立体の体積を求めることができる。				
			2	18	直方体が組み合わさった立体の体積の求め方を考えることができる。			
19				直方体が組み合わさった立体の体積の求め方を考えることができる。				
図形	⑨		1	20	展開図から組み立てた立体の名前がわかっている。			
			2	21	展開図を組み立てたときの、面の位置関係がわかっている。			
			3	22	展開図を組み立てたときの、辺の位置関係がわかっている。			
			4	23	展開図を組み立てたときの、頂点の位置関係がわかっている。			
数量関係	⑩		24	平均の求め方がわかっている。				
			25	平均を求めることができる。				
	⑪		26	比につける問題の解き方を考えることができる。				
			27	比についての問題を解くことができる。				
					/9	/11	/7	

今後の学習に向けて *自分ががんばりたいところに○を付けましょう。

考え方	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解くには、どんな習ったことが使えそうかと考えたり、数を書き出したりして、順序よく考えていこうにしましょう。 分数の大きさを比べるには、すぐに比べられないわけをはっきりさせ、それを解決するためにはどんな習ったことが使えそうかと考えるようにしましょう。 分数をかける場面の式を考えるには、数直線をかいて、整数をかける場面と同じように考えるようにしましょう。 こみぐあいを比べるには、どうすれば比べられるのかを考えたり、単位量あたりの大きさの意味をもとにして考えたりしましょう。 様々な形のおよその面積を求めるには、その形を、面積が求められる形に置きかえて考えましょう。 直方体を組み合わせた立体の体積を求めるには、体積が求められる立体に分けたり、大きな立体と小さな立体の差をみたりして、習ったことをうまく使えないかと考えましょう。 展開図の面や辺が、展開図を組み立てたときにどのような位置関係になるのかを考えるには、頭のなかで直方体や立方体を切り開いたり、組み立てたりすることを考えてみましょう。 等しい比をつくるにはどうすればよいかを考えましょう。
表現・処理	<ul style="list-style-type: none"> 分母のちがう分数の、たし算やひき算とかけ算やわり算とでは計算の仕方がちがいます。教科書で計算の仕方を確かめ計算が確実にできるように練習しましょう。 公倍数の意味を問題にあてはめて考え、問題を解くようにしましょう。 分母のちがう分数の大きさを比べるには、通分したり小数になおしたりしてどちらが大きいかを見つけましょう。 面積を求めるには公式にあてはめたり、単位のいくつ分かと考えたりしましょう。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> どういった数を約数というのかをもう一度教科書で確かめましょう。 こみぐあいを求めるための計算をしたら、その結果がどういう意味であるのかを確かめましょう。 平均の意味について復習しましょう。 立体の見取図や展開図から、頂点や辺の個数、面の形、辺や面の平行、垂直の関係などに目をつけて、立体の特徴をまとめましょう。